

2011 年度 JROSG 海外出張支援  
報告書

大阪府立成人病センター放射線治療科  
中村聡明

JROSG 海外出張支援のご援助のもと、膵癌術前化学放射線治療後の腎機能についてまとめた結果を欧州放射線腫瘍学会 (ESTRO) 30 周年記念大会にて発表させていただきました。ご支援に感謝申し上げます。

学会：欧州放射線腫瘍学会記念大会 (ESTRO Anniversary Congress)

場所：London, UK

期間：2011 年 5 月 8 日～ 5 月 12 日

タイトル：

RENAL FUNCTION AFTER PREOPERATIVE CHEMORADIATION FOR  
T3-PANCREATIC CANCER

発表内容：

【目的】膵癌術前化学放射線治療 (CRT) 後の腎機能について検討をおこなう。

【方法】対象は大阪府立成人病センターにて術前 CRT を施行し、3 年以上経過観察を行った 44 症例。年齢中央値は 65 歳 (41-81 歳)、観察期間中央値は 50 ヶ月 (37-92 ヶ月)。全例で Full-dose GEM 併用 50 Gy/25 fr の術前照射を行った。

【結果】両腎の DVH 解析は V10/V20/V30=48/25/5% (平均値) であった。推算糸球体濾過量 (eGFR) を用いた腎機能の解析で CRT 前：80.6 mL/min/1.73 m<sup>2</sup> に対して CRT 1/2/3/4/5 年後は、80.8/77.5/76.1/76.3/74.7 mL/min/1.73 m<sup>2</sup> とわずかな低下にとどまった。また両腎の照射線量と腎機能の間には相関を認めなかった。

【結語】少なくとも 3 年の経過観察にて、膵癌術前 CRT は腎機能に影響を及ぼさないと考えられた。